

よりよい春江中学校をめざして (令和5年度 年度末評価)

私たちは、今を一生懸命に生きる子どもたちが、一日一日成長してくれることを願っています。子どもたちの成長は、春江中学校という集団ならではの取組の中で実現していくものだと考えています。今年度の教育活動の取組について、アンケート結果をもとに振り返ります。

校訓「賢く 正しく 逞しく」

【めざす生徒の姿】

- 学習にも部活動にも意欲的に取り組み、自らを心身ともに高めようとする生徒
- 人としての正しい在り方を考え、正しく判断し、信念を持って行動できる生徒
- お互いのよさを認め合い、高め合おうとする、誠実さや向上心を持った生徒

【重点項目】

- **学力向上の推進** ～評価の改善による基礎学力及び知識・技能の活用力の向上
数値目標 ●「授業がよくわかる」と回答する生徒→50%以上
1年生→33.2% 2年生→33.3% 3年生→43.1%
- **魅力ある学校づくりの推進** ～居場所づくり・不登校対策への取組強化～
数値目標 ●「学校が楽しい」と回答する生徒→65%以上
1年生→57.3% 2年生→66.8% 3年生→66.2%
- **自主的・主体的活動の支援** ～生徒主役の活動を重視した自己実現を目指す取組の充実～
数値目標 ●「みんなで何かをするのは楽しい」と回答する生徒→75%以上
1年生→72.5% 2年生→72.8% 3年生→76.3%

【日々の教育活動の土台となる理念】

「共感力の育成」・・・相手の立場に立ち、感じて、思いやる心の育成

あなたは、共感できることはないか意識して、人の意見や発表を聞くことができましたか。

「しっかりできた」と回答した生徒は

1年生→50.0% 2年生→55.0% 3年生→69.0%

※「だいたいできた」も含めると肯定率はどの学年も90%以上

子どもたちは様々な教育活動の中で素敵な笑顔や輝きを見せてくれました！

互いに認め合い協力し合う学校行事



ICT機器を利用した授業（総合）



目標を持って強い心身を育む部活動

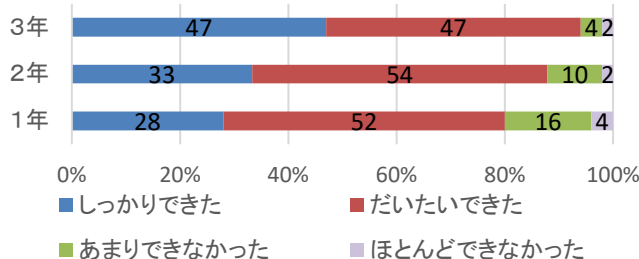


学 習

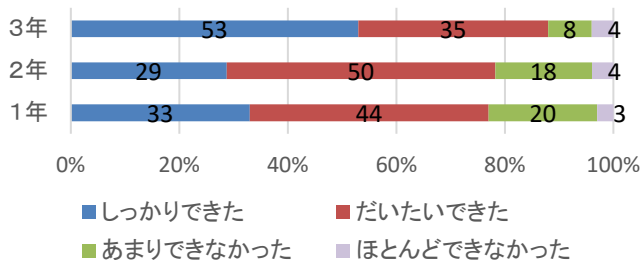
○ ICTを活用して、「わかる・できる」が実感できる授業をデザインする。

<生徒の姿①>

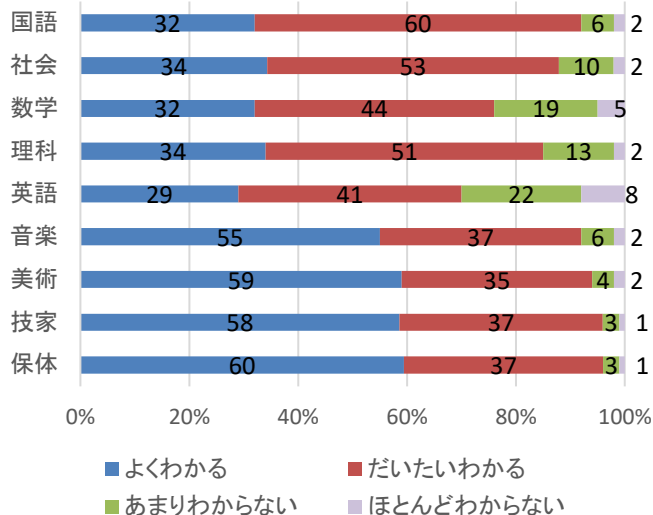
Q 何を学習するかを意識して授業を受け
終わりにには振りかえることができましたか。



Q あなたは、家庭で自主的な学習ができましたか。



Q 授業がわかりますか。



学習
サイク
ルの
定着



Q 授業では、タブレット端末をどのように使っていますか。(複数回答可)

※数値は%	知りたいこと、 わからないこと を調べる	写真や動画を とること	自分の考えを 発表すること	自分の考えを まとめること	クラスの子の 考えを知ること	班や学級など の意見をまと めること	使っていない
1年	23.7	10.8	20.4	16.7	16.7	10.6	1.0
2年	28.0	15.4	19.8	17.3	13.1	5.4	0.9
3年	25.2	6.7	21.4	17.8	17.9	10.9	0.1

<現状と課題>

家庭学習に取り組んでいるという意識の生徒が80%以上です。これは学習サイクルの一翼である「定着させる」ことに大いに役立ちます。一方、教科ごとに「わかる」度合いをみますと、積み上げ型の教科で課題意識を持つ生徒が多いようです。学校では、定期的には選択講座制学習会や質問会を開催し、自分の進捗や目標に合わせて理解を深められるよう取り組んできました。

<今後の取組>

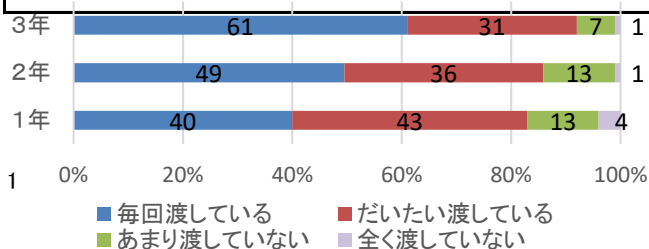
学校では、ICT機器の効果的活用や評価の改善等の視点で授業研究を行い、引き続き「わかる・できる」授業をデザインしていきます。授業で「わかる」、練習により「できる」、家庭学習により「定着させる」サイクルを重視して、学力の向上をはかります。そして、好奇心をもって学習に臨めるよう、意欲を高めていきたいと思っています。

開かれた学校

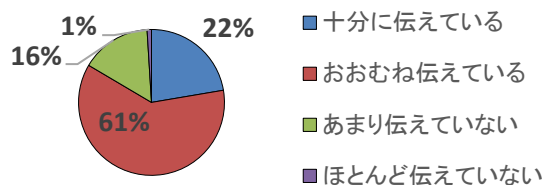
○ 様々な便り、ホームページ、学校開放等で情報を発信し、家庭・地域との連携を図る。

<生徒の姿>②

Q 学校からの便りを家族にわたしていますか。



Q 学校は保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えて
いますか。 保護者アンケートより



<現状と課題>

さまざまな便りや文書を発行し、情報発信をしています。学年通信、保健だより、図書館だよりなどを、生徒を通して配付していますので、確認をしていただけるとありがたいです。ホームページに関しては「更新が遅い」とのご意見をいただいています。

<今後の取組>

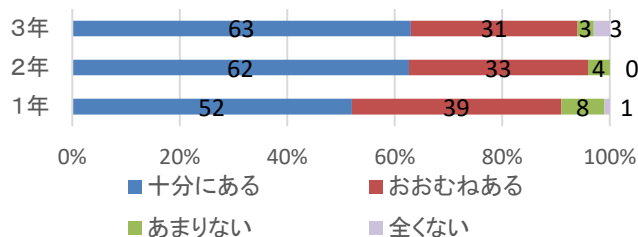
教育活動や学校の様子、進路に関する情報など、今後も積極的に便り、ホームページ等でお伝えしていきたいと思っています。学校開放に関しても、行事等の機会を捉え、学校の様子を直接的、間接的に見ていただけるようにしていきたいと思っています。

生活

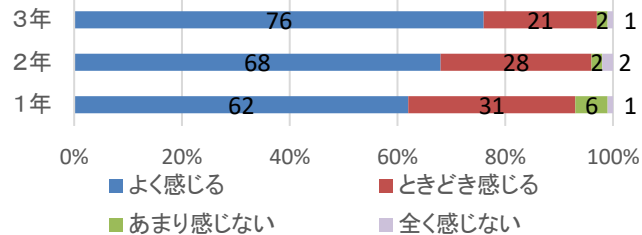
- 生徒同士がつながりあう集団、自らの居場所が実感できる集団を目指す。
- 『春中スマホット宣言』や情報モラル教育などを通して、規則正しい生活や情報モラルについて考え、実行できる生徒を育てる。

<生徒の姿③>

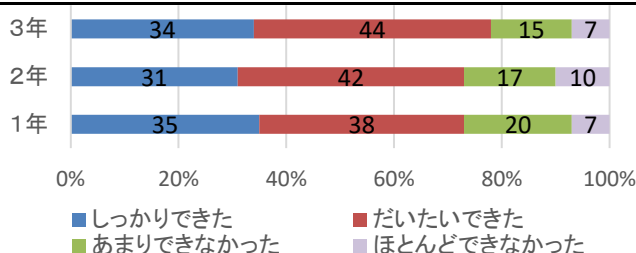
Q 学校には、あなたが主体的に活動できる場がありますか。



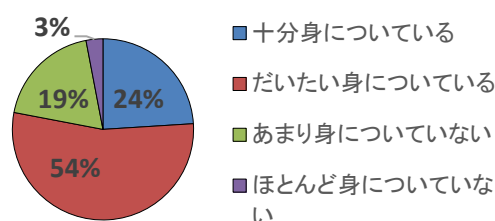
Q あなたは、学級や部活動などで友達とのつながりや連帯感を感じますか。



Q インターネットや通信機器を利用する際に、「春中スマホット宣言」を意識した取り組みができましたか。



Q お子さんはインターネットや通信機器を利用するときに、相手を思いやる気持ちや使用するマナーが身に付いていますか。



春中スマホット宣言

～H 春中生を O 思いやって T 大切に～



- 一、春中生としてやるべきことを先にする(勉強・手洗い)
- 一、夜10時以降は使用しない
- 一、夜9時以降は友達と連絡を取らない
- 一、一日の使用時間は平日1時間まで、休日または休業日は3時間まで
- 一、使用している、していないに関わらず相手を思いやる
- 一、人が写っている写真はネットにのせない
- 一、各家庭のルール

<現状と課題>

90%以上の生徒が自分には居場所があると感じており、昨年度よりも肯定率が高くなっています。また、多くの生徒が学級や部活動などで友達とのつながりや連帯感を感じており、学年が上がるほど高くなっています。ネット等利用については使用時間やマナーの面、情報モラルで不安を感じている保護者の方は少なくないようです。

<今後の取組>

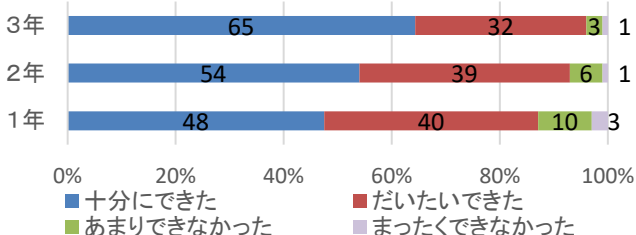
一人一台使用できるタブレットを使用しながら、通信機器を学習等に有効に活用できる生徒を育成します。グループ学習等での意見交換ツール、課題を調べる、学んだことを蓄積し次の学習に生かす、などの手段になるよう、学校生活で活用を進めていきます。また、情報モラル教育も行っていきます。

健康

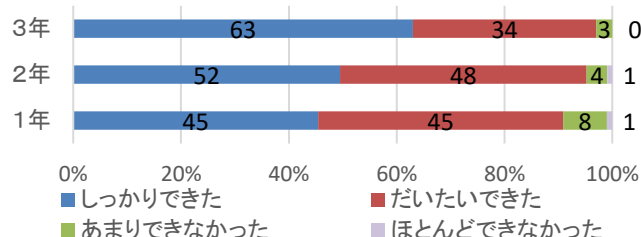
- 新型コロナウイルスの脅威と感染防止について意識を高め、校内感染防止に努める。
- 「黙働清掃」を通して、我慢・気づき・感謝の心を育てる。

<生徒の姿④>

Q 毎日の検温やマスクの着用、手洗い・消毒、距離を保った会話などを意識して行動できましたか。



Q 清掃について、よりきれいになるように黙働清掃に取り組みましたか。



<現状と課題>

感染予防に関して肯定率は昨年度より若干高くなっているものの、実際には新型コロナウイルス感染症、特にインフルエンザの罹患は多くなってしまいました。清掃は、一昨年度から実施する曜日を月・水・金と週3日にしています。しっかり集中してできた生徒は今年度も多かったようです。

<今後の取組>

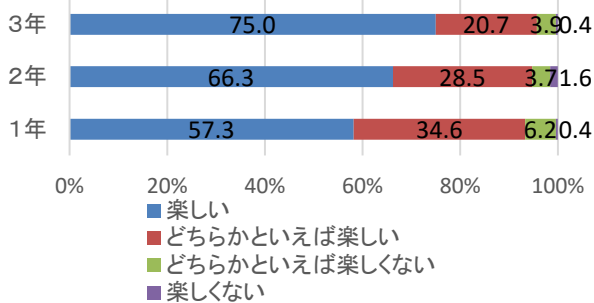
生徒が安全に生活できる環境を維持するためにも、今後も感染予防のための手洗い・消毒、マスクの着用、教室の換気などの、状況に応じた指導を継続していきます。黙働清掃では「自分で考えて動ける生徒」を目指すために、自己チェック等で評価するなど、工夫した活動をしていきます。

心

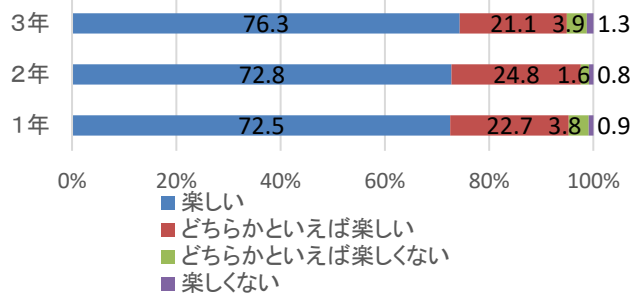
○生徒が主体的に活動する場、安心して意見を言い合える環境をつくる。

<生徒の姿⑤>

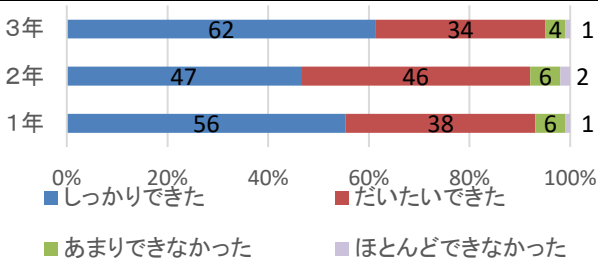
Q 学校は、楽しいですか。



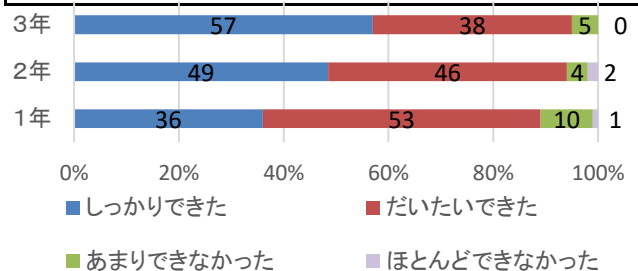
Q みんなで、何かをするのは楽しいですか。



Q 心の窓や教育相談を通して、先生に自分の思いや考えを伝え、聞いてもらうことができましたか。



Q 「今週の目標」や「今月の春中しぐさ」などのマナーを守り、相手の気持ちを理解して接することかできましたか。



<現状と課題>

「学校が楽しい」と回答する生徒の数値目標の65%は、2、3年生では達成できましたが、1年生ではできませんでした。しかし、全体の肯定率は昨年度よりは上昇しました。「みんなで何かをするのは楽しい」と回答する生徒は70%以上でしたが、75%以上の目標は、1、2年生ではわずかに達成できませんでした。

<今後の取組>

生徒が安心して過ごせる居場所づくりをめざし、教育相談の時間を充実するなど学級経営の工夫を行っていききたいと思います。また、保護者と教員の間の情報交換・情報共有のための学校側からの情報発信に努めていきます。今後も、生徒が主体的に活動できる場を適切に設けて、生徒同士の絆づくりを目指します。そして、生徒が「楽しい」とさらに感じる学校にしていきたいと考えています。

進路

○地域の人との関わりを密にし、自ら企画して行動する体験的学習を充実する。

1年生 地域交流会 職業別選択講座



2年生 職場体験学習



3年生 下級生への上級学校説明



<現状と課題>

今年度は、地域人材とのふれあい活動を再開したり増やしたりしながら、1年生で「地域交流会」や「職業別選択講座」、2年生で「職場体験学習」、3年生で「卒業後の進路・進学先の選択」「下級生への上級学校説明」というように、学年が進むにつれて徐々に具体的な目標が意識できるよう継続的な進路指導を行ってきています。アンケートからは、御家庭での進路についての会話が学年が上がるほど多くなっていることが伺えます。学校教育の中では「視野を広げて将来を考える」という視点で進路教育を行っています。

<今後の取組>

今後も、実施できる活動を検討し、段階を踏みながら進路指導を進めていきます。体験活動は、学校だけでは限界があります。今後とも、ご家庭・地域・企業などのご協力を得ながら、生徒がいろいろな経験・体験をすることを通して、視野を広めることができるようにしていきたいと考えています。

生徒、保護者、地域、学校が一つになってこそ、よりよい春江中学校が実現します。今後とも、生徒たちの学校生活の様子や本校の教育活動などHPでもお知らせしています。是非、ご覧ください。 <http://www.harue-j.ed.jp>